

豊能町公共施設再編に向けた住民ワークショップ報告書

	日程	場所	参加者	内容
第1回	令和3年 11月6日	西公民館 大会議室	18人	公共施設の現状と課題について
第2回	令和3年 11月27日		17人	公共施設の再編を考えてみよう

第1回 公共施設の現状と課題について

○ 講演

テーマ 公共施設の「これから」を考える
大阪成蹊大学経営学部 教授 大塚康央 氏
(豊能町公共施設再編検討委員会委員長)

内容 ・大きな背景 人口減少、施設の老朽化、将来の財政負担
・基本認識 町の行財政の維持、町民生活の維持
・公共施設のこれからを考える3つの視点

つくる時代から「使う」時代へ、第3の場所の重要性、15分コミュニティ

○ ワークショップ (3班に分かれて実施)

公共施設の現状・問題点・課題の抽出 (別添別紙1 参照)

第2回 公共施設の再編を考えてみよう

○ 前回のふりかえり

○ ワークショップ (前回の3班で実施)

第1回のワークショップで各施設の現状・問題点・課題について抽出した内容を基に、各施設・全体についての「課題解決のための対応策」「将来の使い方」を各自ふせんに書き込んでいく。



各自記入したふせん内容を発表しグループ内で共有する。



グループ内で共有した意見をまとめる。



グループ毎にまとめた意見を発表する。(別添別紙2 参照)

○ 大塚先生からの講評

各グループで活発に意見交換されており、議論の内容が公共施設についてだけでなく「まちづくり」の議論に発展し多くの意見が出ていたことが非常に印象的であった。

○ アンケート実施

第1回 ワークショップ 公共施設の現状と課題について

各班から出た各施設に対する現状・問題点・課題等の意見まとめ

【社会教育系施設】

〈図書館〉

- ・東地区から利用するには不便である
- ・雨漏り対策が必要
- ・箕面市と広域的に充実させる

〈郷土資料館〉

- ・西地区からはほとんど行かない
- ・東地区でもあまり知られていない
- ・利用が少ない
- ・展示品を見直し、魅力発信の必要性
- ・休館日が多い

〈シートス〉

- ・料金が安過ぎるのではないか
- ・住民の健康維持に寄与している
- ・広域の利用ができていない
- ・雨漏り対策が必要
- ・清掃が行き届いていないところがある
- ・トイレなどの修理が終わらず使えないトイレがある

〈スポーツ広場〉

- ・利用が多く盛況だが駐車場が日曜日は満杯
- ・健康維持のために重要な施設である

【保健福祉施設】

〈豊寿荘〉

- ・日曜日も開館してほしい
- ・雨漏りを早急に修理すること
- ・老人クラブが借りているカラオケ装置(DAM)を一般にも開放したい

〈保健福祉センター〉

- ・コロナ禍でワクチン接種などうまくやってくれたことに感謝
- ・ロビーを住民に開放してくれて毎朝体操できることは有難い

【文化系施設】

〈中央公民館・西公民館〉

- ・雨漏り対策が必要
- ・特定の人が利用しているイメージがある
- ・音響設備が悪い
- ・集える場にしてほしい
- ・コーヒー飲みながら雑談できるようなスペースがほしい
- ・駐車場が満車のことが多い(西公民館)
- ・バリアフリー化(エレベーター)の問題(中央公民館)
- ・Wifiが導入されれば取り組みが広がる。例えば自宅からイベントに参加できる

〈ユーベルホール〉

- ・あまり使われていない
- ・利用料が高い
- ・バリアフリー化の問題
- ・ユーベルは町の誇りであるべき
- ・地域団体の育成に活用してはどうか
- ・催事が少ない
- ・集客できるイベントの開催
- ・部屋数が少ない

【その他】

- ・各世代があったら嬉しいサービスを出し合いマッチング出来るものをまとめて箱(施設)を使う
- ・公共施設を使うには東西交通が不便

第2回 ワークショップ 公共施設の再編を考えてみよう

各班から出た「課題解決のための対応策」「将来の使い方」に対する意見まとめ

【社会教育系施設】

〈図書館〉

- ・直営とネット予約の充実

〈郷土資料館〉

- ・高山へ移設
- ・観光協会との連携
- ・学校跡地を活用して志野の里、郷土資料館、観光協会が連携して魅力を発信する

〈シートス〉

- ・町民以外の利用者とのサービス、料金を差別化

〈スポーツ広場〉

【保健福祉施設】

〈豊寿荘〉

- ・永寿荘・豊寿荘の統合
- ・多世代で活用する
- ・民間の力を借りて充実させる

〈国保診療所〉

- ・民間委託

【文化系施設】

〈中央公民館・西公民館〉

- ・機能統合（特に中央公民館の機能の見直し）

・

〈ユーベルホール〉

- ・能勢町と豊能町の広域で考える
- ・現状の利用であれば、公民館の部屋で対応可能

【全体】

- ・公共施設間アクセスの充実
- ・住民協働における施設運営
- ・施設を東西別々に考えるのではなくトータル的に考える
- ・施設の複合化を検討する
- ・機能を統合して利用率を上げる
- ・駐車場問題（止められないときがある）
- ・住民の意識を変える必要がある
- ・東地区の魅力を発信する
- ・小学校単位でのコミュニティを大切にする
- ・多世代交流が求められている
- ・公民連携の取り組み
- ・町の売り、コンセプトを明確にする
- ・子育て世代が集まれる場所が必要
- ・公共施設の複合化でワンストップを図る
- ・東西にそれぞれ核となる複合施設を造る
- ・集約施設と各地域にコミュニティのハブ拠点を造る
- ・学校跡地をコミュニティセンターにして地域で活用する
- ・集約と分散（分散は住民に運営を任せる）
- ・若い世代の意見を吸い上げる
- ・近隣自治体・能勢町と一緒に取り組む